

Rotary



宮崎南週報



出逢う人と 奉仕を共に

宮崎南ロータリークラブ

会長 野田 一孝

第1899回例会

2016.12.5

会長／野田 一孝 幹事／井上 竜志
副会長／日高 章智 会報／戸高 勝利
例会場／宮崎観光ホテル
ソング／君が代 四つのテスト
ロータリーの目的



宮崎RC
演田倫紀様



宮崎西RC
山田隆史様

会長挨拶



今年の流行語大賞、紅白歌合戦出場者発表など、いよいよ今年も残り1か月を切りました。

第2730地区の押川会長エレクトの準備も具体的に表れてきました。次年度のスケジュールも発表になっております。

2017年1月29日次年度ガバナー補佐会議

2月18日地区チーム研修セミナー
3月4日会長エレクト研修セミナー
5月13日地区会員増強セミナー
5月14日地区研修協議会
9月29日地区大会

このようなスケジュール発表となっております。会員の皆様の御協力を御願い致たすこととなりますが、宜しくお願いします。

師走の忙しい時期にもなっております。気候の変化も著しく、体調を維持するのも大変ですが、風邪やインフルエンザなどに十分気を付けて、年末年始を乗り越えましょう。

出席委員会報告

松田安典委員長

●出席状況

本日状況

会員数 (38) 41名
本日欠席者数 11名
本日出席者数 30名
出席率 78.95%

前々回状況

会員数 (37) 41名
ホームクラブ出席者数 27名
メークアップ数 3名
修正出席者数 30名
修正出席率 81.08%

●前々回メークアップされた方／大迫雅浩会員、橋口正樹会員、寺村明之会員

ニコニコ BOX 0件 累計 47,000円

募金箱 5,409円 累計 85,959円

幹事報告

井上竜志幹事



・2016年12月のロータリーレートは106円です。参考まで11月のレートは102円でした。

・月信12月号のP19行事予定表内 5月20(土)→13(土)21(日)→14(日)に訂正をお願いいたします。お間違えの無いようにお願い致します。

ロータリーフラッシュ

●誕生月

坂田 勝会員
山本典広会員
森 英典会員
矢野智哉会員



●結婚月

日高章智会員
開地俊昭会員
山本典広会員
長友好太郎会員



Rotary ロータリー情報

エイズ教育 (AIDS Education)

ロータリークラブは、適切であれば、公的保健機関や非政府団体と協力して、エイズ教育と予防について会員及び地域社会の理解を深めるよう奨励されている。ロータリークラブは、エイズへの理解を深め同時に地域で受け入れられる範囲内で慎重かつ良識を働かせながら、エイズ教育と予防プログラムに着手または支援しなければならない。

親睦委員会

大迫雅浩委員



・12月26日(月)年末家族懇親会を行います。宮崎観光ホテル8F 18:30~ 景品の提供をよろしくお願いします。

その他.....

次年度総会について 戸高勝利会長エレクト



次年度会長を仰せつかっております戸高でございます。只今次年度の入佐幹事の発表のように役員を決めさせて頂きました。皆様のご協力のもと決定いたしました。有り難うございます。次年度は、新役員と共にしっかりと務めてまいりますので会員の皆様のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

2017年～2018年 宮崎南ロータリークラブ 理事及び役員候補者

役 員		理 事	
会 長	戸 高 勝 利	職業奉仕	安 川 潔
副 会 長	日 高 勇 二	社会奉仕	井 上 竜 志
幹 事	入 佐 秀 幸	国際奉仕	大 田 寛 子
会 計	分 田 正 明	青少年奉仕	矢 野 智 哉
会長エレクト	早 瀬 清 則	プログラム	山 崎 栄一郎
S A A		親 瞳	大 迫 雅 浩
直前会長	野 田 一 孝		

副 幹 事	分 田 正 明
-------	---------

本日のプログラム 会員卓話

疾病予防と治療月間について 入佐秀幸会員



「地域社会の医療従事者の能力向上、伝染病の伝播を食い止め、非伝染病とそれによる合併症を減らすための、疾病予防プログラム、地域社会の医療インフラの改善、疾患の蔓延を防止することを目的とした、地域住民への教育と地域動員、疾病または怪我によって引き起こされる身体障害の予防、疾病予防と治療に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調する月間とした。」ということです。

ここで、3件の活動をご紹介いたします。

一件目は、「子どもたちにハートを届けるエクアドルの医師」

エクアドルのロータリー会員で小児心臓外科医のヘラルド・ダバロスさんです。



タバロスさんはロータリー財団の補助金を受けて、恵まれない子どもたちに心臓手術を行っており、無料で心臓手術を行った患者は120以上。これは2002年に始まったロータリー補助金プロジェクトとして、米国イリノイ州のロータリークラブとの協力で実現したということです。

二件目は、リベリアでエボラ収束後もエボラ出血熱の予防に関する認識向上キャンペーンの一環として戸別訪問を行うモンロビア・ロータリークラブ（リベリア）会員の皆さんです。



エボラ出血熱の大流行により、犠牲者が3,600人を超えたリベリアで感染拡大を食い止めるためにモンロビア・ロータリークラブは、非接触の赤外線体温計200個、検査手袋1万枚、手洗い用の注ぎ口付プラスチックバケツ100個、医療従事者用のゴム長靴120組、マットレス80台、エボラ対応用の無料ガソリン券、学校閉鎖のために自宅に待機している子どもへの本を寄贈されました。会員53人のこのクラブは、エボラ患者、医療従事者、支援スタッフへの現地でのサポートを充実させるために、保健・社会福

祉省と協力し、救援が来るのをただ待つだけではなく、自分たちで緊急行動計画を立てたということです。また、クラブは、エボラで親を亡くした孤児のための養護施設に8万ドルを寄付するほか、リベリア最大の病院であるジョンF.ケネディ・メディカルセンターに感染者治療用の酸素濃縮器を寄贈し、保健と社会福祉の分野の奨学金を提供するなど、長期的な支援に向けた活動も計画されています。

三例目は、ヒマラヤでの家庭排気対策プロジェクトに取り組んでいるタオス・ミラグロ・ロータリークラブ（米国ニューメキシコ州）のジョージ・バッシュさんです。



2001年にヒマラヤ訪問時、多くの家屋で家庭排気による煙害が起きており、家の中に穴を掘って火を起こす家庭や、家畜の糞を燃料代わりにする家庭がありました。煙害は健康被害をもたらします。この状況を何とかするために2009年にヒマラヤを再訪し、燃焼効率の良い調理用ストーブを設置することで問題を解決できることを知ったバッシュさんは、燃焼効率の良い調理用ストーブの考案者と連絡を取り、ネパールで使用する可能性を検討し、2010年に48台のストーブを家庭に提供しました。

その後もプロジェクトは続き3,000台以上が提供されました。ストーブを受け取った家族は、そのお返しとして、地域社会での奉仕活動に参加したり、学校や診療所の備品を購入したりしているそうです。バッシュさんは「山間部にはこのストーブを必要とする人々が大勢おり、みんなに提供できれば素晴らしい変化が生まれるでしょう」と意欲を燃やしているそうです。

事務局より ~奥野由美~

親睦委員会より発表がありました様に、ご家族の参加者が少ないようです。会員の皆様の奥様、お子様、お孫様など、大勢の参加を期待しております。又、2,000円程度の景品も宜しくお願ひ致します。

今年最後の楽しい懇親会になり
ますように…。

